

# 宿 泊 約 款

## 【適用範囲】

- 第 1 条 1.当館が宿泊客との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとする。
- 2.当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとする。

## 【宿泊契約の申込み】

- 第 2 条 1.当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当館が必要と認める事項
- 2.宿泊の申込をした者は、当館が宿泊者の氏名、住所、電話番号等を記載した宿泊者名簿の提出の依頼した際は、宿泊契約成立後であっても、直ちに提出するものとする。
- 3.当館は、宿泊予定日前の任意の日に、宿泊客からいただいた連絡先に予約の確認の電話を差し上げる事があります。
- 4.宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館はその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

## 【宿泊契約の成立等】

- 第 3 条 1.宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとする。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2.前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間に該当する当館が定める申込金を、当館が指定する日までにお支払いいただきます。
- 3.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4.第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。ただし、申込金の支払期間を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

## 【申込金の支払いを要しないこととする特約】

- 第 4 条 1.前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2.宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当館が申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## 【宿泊契約締結の拒否】

- 第 5 条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込が、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、伝染病患者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により、宿泊させることが出来ないとき。
- (7) 北海道旅館業法施行条例10条の規定する場合に該当するとき。
- (8) 宿泊の申込をした者が、自己の商業目的を秘して申込をしたとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
- イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
- ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

## 【宿泊客の契約解除権】

- 第 6 条 1.宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2.当館は、宿泊客が宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けず。
- ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したとき
- に限ります。
- 但書
- 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとし、無条件で取り消すことがあります。

## 【当館の契約解除権】

- 第 7 条 1.当館は、締結された契約内容が第5条第1項に該当する場合、または次に掲げる場合において、宿泊契約を解除することができます。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、または同行行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が伝染病患者であると明らかに認められるとき。
- (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることが出来ないとき。
- (5) 北海道旅館業法施行条例10条の規定する場合に該当するとき。
- (6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
- (7) 宿泊の申込をした者が、自己の商業目的を秘して申込をしたとき。
- (8) 当館から確認の電話又は電子メールをした際、宿泊申込時にいただいた電話番号や電子メールアドレスが無効である場合、または指定した折り返し期日までにご連絡のない場合。
- (9) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
- イ) 暴力団、暴力団員、暴力団員準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
- ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当するものがあるもの
- 2.当館が第7条の事由に基づいて宿泊契約を解除した時は、未だ提供を受けていない宿泊サービスの料金を、解約時における違約料として計算しお支払いいただきます。

## 【宿泊の登録】

- 第 8 条 1.宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び職業
- (2) 外国人にあっては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他当館が必要と認める事項
- 2.宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿 券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

## 【客室の使用時間】

- 第 9 条 1.宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時(別館客室宿泊客は午後2時から翌朝11時)までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2.当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外に客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けず。

- (1) 超過3時間までは、室料相当額の 33%
- (2) 超過6時間までは、室料相当額の 50%
- (3) 超過6時間以上は、室料相当額の 100%
- 3.前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

## 【利用規則の遵守】

- 第 10 条 1.宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

## 【営業時間】

- 第 11 条 1.当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット 各所の掲示 客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

(1) 鶴雅メインダイニング [天河]	夕食 18:00～21:00 朝食 7:00～9:00
ウイングス北海道ビュッフェ [HAPO]	夕食 18:00～21:00 朝食 7:00～9:00
鶴雅料亭 [北瑠宮]	夕食 18:00～20:00
(2) 温泉施設に関しては館内掲示物に準ずる	
(3) リラクゼーションサロン [ビリカ]	15:30～24:00
(4) おみやげ処 [百花処]	7:30～11:00/14:00～21:30
(5) 和雑貨 [のレン]	7:30～10:00/17:00～21:00
(6) 木房 [アルブル]	7:30～10:00/15:00～21:30
(7) ザ・ノース・フェイスショップ 鶴雅店	7:00～10:00/15:00～21:00

- 2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には、ホームページでの告知等、適当な方法をもってお知らせします。

## 【料金の支払い】

- 第 12 条 1.宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3.当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けず。

## 【当館の責任】

- 第 13 条 1.当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。
- 2.当館は、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

## 【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

- 第 14 条 1.当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2.当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

## 【寄託物等の取扱い】

- 第 15 条 1.宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2.宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15万円を限度として当館はその損害を賠償します。
- 3.当館は、第1項および第2項に基づく損害賠償責任のあるときであっても、次に定める物品については、その責任を負いません。(1) 稿本、設計書、図案、帳簿、その他これらに準ずるもの(磁気テープ、磁気ディスク、CDロム、光ディスク等情報機器(コンピュータ及びその端末装置などの周辺機器)で直接処理を行える記録媒体に記録されたものを含みます。)

## 【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

- 第 16 条 1.宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2.宿泊客がチェックアウトしたのち、手荷物または携帯品が当ホテルに置き忘れられている場合において、当ホテルは原則として所有者からの照会の連絡を待ちその指示を求めます。所有者からの指示がない場合は、貴重品については発見日を含め7日以内に最寄の警察署に届け、その他の物品については3ヶ月経過後処分します。ただし飲食物・たばこ・雑誌等は即日処分します。
- 3.前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、前条第2項の規定に準ずるものとします。ただし第1項の郵送物お預かり時の扱いについては、フロント預かり物と同等に保管いたします。

## 【駐車場の責任】

- 第 17 条 1.宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

## 【宿泊客の責任】

- 第 18 条 1.宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当館が宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。
- 2.宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため万が一宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたらと認識したときは、すみやかに当館において、その申し出を申し出なければなりません。
- 3.当館と宿泊客との間の宿泊契約に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当館の所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所をもって専属管轄裁判所とします。

別表第1 宿泊料金等の内訳 (第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 容
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料(室料+朝・夕食等の飲食料) ②サービス料含む(③に関わるもの)
	追加料金	③飲食料(①に含まれるものを除く)およびその他の利用料 ④サービス料含む(③に関わるもの)
	税金	⑤消費税 ⑥入湯税 ⑦宿泊税(導入自治体に所在する施設のみ)

別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日	不 泊	当 日	前 日	2～7日前	8～14日前	15～30日前	31～60日前
契約申込人数	10名まで	100%	100%	50%	30%		
	11～25名まで	100%	100%	50%	30%	10%	
	26～100名まで	100%	100%	100%	50%	30%	10%
	101名以上	100%	100%	100%	50%	30%	20%

1.5%は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2.連泊の契約日数が短縮した場合は、キャンセルされる日付それぞれに該当する違約金を収受します。

3.団体客(11名以上)の一部に契約の解除があった場合、解約人数に応じて上記違約金を収受します。

4.各宿泊契約・宿泊プランにキャンセルについて記載がある場合、その記載内容が優先されます。



# ACCOMMODATION TERMS AND CONDITIONS

## Scope of Application

**Article 1.** Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case where the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

## Application for Accommodation Contracts

**Article 2.** A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case where the Guest requests, during the Guest's stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

## Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

**Article 3.** A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the repayments under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of deposit is specified.

## Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

**Article 4.** Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

## Refusal of Conclusion of Accommodation Contracts

**Article 5.** The Hotel may refuse the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is clearly deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to the accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation is deemed to fall under any of "a" through "c" below:
  - a. An organized crime group as defined in the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Law #77 of 1991) Article 2, Item 2 (henceforth, "organized crime group"), a member of an organized crime group as defined in Article 2, Item 6 of that Act (henceforth, "organized crime group member"), an associate of an organized crime group, a person affiliated with an organized crime group, or anyone acting against social order
  - b. A corporation or any other group which is managed or operated by an organized crime group or an organized crime group member
  - c. A corporation in which any of the corporate officers fall under the definition of an organized crime group member;
- (5) When the Guest seeking accommodation speaks or behaves in such manner to create significant disturbance to any other guests;
- (6) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected to be carrying an infectious disease;
- (7) When requests regarding accommodation are carried out in a violent manner, or when the Hotel is requested to assume an unreasonable burden;
- (8) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (9) When the provisions of Article 11 of the Enforcement Ordinances of the Hotel Business Law in Hokkaido are applicable.

## Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

**Article 6.** The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed by the Hotel of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without advanced notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

## Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

**Article 7.** The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to the Guest's accommodation;
- (2) When the Guest is deemed to fall under any of "a" through "c" below:
  - a. An organized crime group, an organized crime group member, an associate of an organized crime group, a person affiliated with an organized crime group, or anyone acting against social order
  - b. A corporation or any other group which is managed or operated by an organized crime group or an organized crime group member
  - c. A corporation in which any of the corporate officers fall under the definition of an organized crime group member;
- (3) When the Guest speaks or behaves in such manner to create significant disturbance to any other guests;
- (4) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (5) When requests regarding accommodation are carried out in a violent manner, or when the Hotel is requested to assume an unreasonable burden;
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or causes of force majeure;
- (7) When the provisions of Article 11 of the Enforcement Ordinances of the Hotel Business Law in Hokkaido are applicable;
- (8) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Hotel Policy and Rules stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which the Guest has not received.

## Registration

**Article 8.** The Guest is requested to register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
- (2) Except Japanese guests, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
- (3) Date and estimated time of departure;
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest intends to pay the accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

## Occupancy Hours of Guest Rooms

**Article 9.** The Guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the Hotel from 3 p.m. to 10 a.m. the next morning (from 2 p.m. to 11 a.m. the next morning for guests staying in the Tsuruga Bekkan). However, in the case where the Guest's accommodation is over continuous nights, the Guest may occupy the guest room all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions described in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 3 hours, 33% of room charge
- (2) Up to 6 hours, 50% of room charge
- (3) Over 6 hours, 100% of the room charge.
3. The above room charge corresponds to 70% of the basic accommodation charges.

## Observance of Hotel Policy & Rules

**Article 10.** The Guest shall observe the Hotel Policies & Rules established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

## Business Hours

**Article 11.** The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and/or other methods.

(1) Tsuruga Main Dining Room [TENGA]	Dinner 18:00-21:00
Wings Hokkaido Buffet [HAPQ]	Breakfast 7:00-9:00
	Dinner 18:0
Japanese Restaurant [KITARIKYU]	Breakfast 7:00-9:00
	Dinner 18:00-20:00
(2) The Guest will adhere to the notices displayed in the Hotel for the Hot Spring business hours	
(3) Relaxation Salon [PIRIKA]	15:30-24:00
(4) Souvenir Shop [HYAKKAEN]	7:30-11:00 / 14:00-21:30
(5) Japanese Miscellaneous Goods [NOREN]	7:30-10:00 / 17:00-21:00
(6) Accessories Shop [ARUBURU]	7:30-10:00 / 15:00-21:30
(7) Outdoor Shop [THE NORTH FACE]	7:00-10:00 / 15:00-21:00

\*\*\*The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means such as notification on the homepage.

## Payment of Accommodation Charges

Article 12. The breakdown and method of calculating Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No. 1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest arbitrarily chooses not to utilize the accommodation facilities provided for the Guest by the Hotel.

## Liabilities of the Hotel

Article 13. The Hotel shall compensate the Guest for damages if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in case when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. The Hotel has received the "Pass Mark" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standards issued by the fire department). Additionally, the Hotel is covered by Hotel Liability Insurance for fire and/or other possible disasters.

Handling when unable to provide Contracted Rooms

Article 14. The Hotel shall, when unable to supply contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. If arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest an accommodation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the repayments. However, if the Hotel cannot supply accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

## Handling of Deposited Articles

Article 15. The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to notify the kind and value of cash or valuables but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles for which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

## Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

Article 16. When the baggage of the Guest arrives at the Hotel before accommodation, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of check-in.

2. In the event that baggage or belongings are left behind at the hotel after the guest has checked out,

As a general rule, the Hotel will wait for an inquiry from the Owner and seek its instructions.

If there is no instruction from the owner, deliver the valuables to the nearest police station within 7 days including the date of discovery, Other items will be disposed of after 3 months. However, food, drink, cigarettes, magazines, etc. will be disposed of on the day.

## Liability in regard to Parking

Article 17. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damages caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

## Liability of the Guest

Article 18. The Guest shall compensate the Hotel for damages caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No. 1 Calculation Method for Accommodation Charges

(Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

Total Amount to be paid by the Guest	Contents	
	Accommodation Charges	1.Basic Accommodation Charge(roomcharge including breakfast) 2.Service Charge(related to 1)
	Extra Charges	3.Extra meals and drinks(excluding what is included in 1) 4.Service Charge(related to 3)
	Taxes	a.Consumption tax b.Hot springs tax(only for locations with Hot Springs)

Attached Table 2

Date when cancellation of contract is notified		No show	Accommodation Day	1 Day Prior to Accommodation Day	2-7 Days Prior	8-14 Days Prior	15-30 Days Prior	31-60 Days Prior
Contracted Number of Guests	Up to 10 Guests	100%	100%	50%	30%			
	11-25 Guests	100%	100%	50%	30%	10%		
	26-100 Guests	100%	100%	100%	50%	30%	10%	
	101 or more Guests	100%	100%	100%	50%	30%	20%	10%

## \*REMARKS

1. The percentages signifies When the cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted are reduced, cancellation charges for the first day shall be aid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of the group booking ( for 11 persons or more ) is canceled, the penalty will be according to the number of cancelled guests as stated above.
4. When each of contracts or accommodation plans prescribes a special cancellation policy, cancellation charges follow rules in its provision.